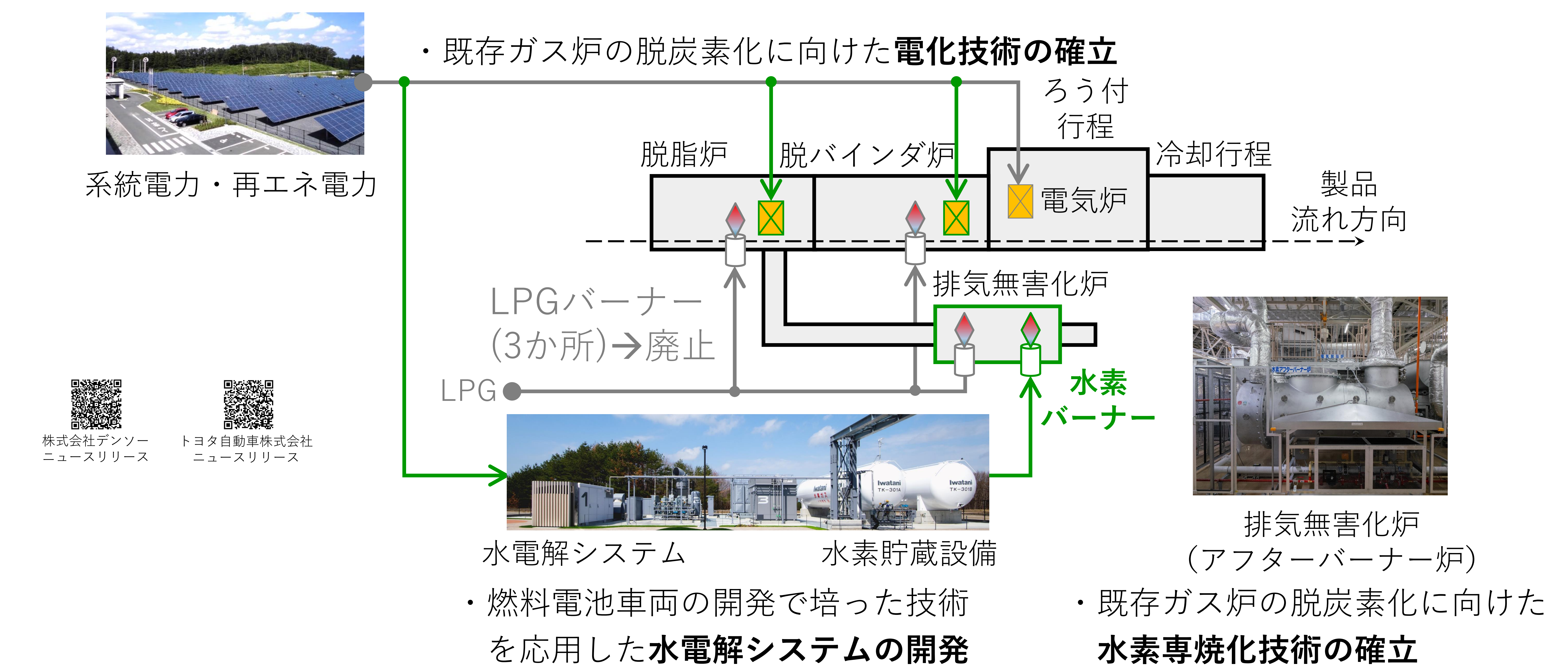


事業の目的

- CO2排出量の多くを占める製造業の脱炭素化を実現させるため、**生きた工場オンサイトで水素を製造・自家消費する仕組み作り**に挑戦し、**経済合理性のある手段で解決**する
- 得られる知見や技術をモデルケースとして**広く地域や社会に発信**し、**仲間づくりに貢献**する

事業内容概略・イメージ



24年度事業目標・成果

	水電解システム開発	電化・水素専焼化技術確立と量産実証
開発目標	- 量産実証季節間を含む水素製造供給の実績積上げ - 量産時水電解システム効率、スタック耐久性確認	- 量産時水素炉構造部品の耐久性・経年変化確認 - 水素、LPG炉の燃料切替の実証
実績成果	水素製造量(kg) 累積運転時間(hr) 24年度月別水素製造量 分解調査 累計水素製造量 19,000kg 累計運転時間 2700時間 夏季：システム機器の冷却空調 冬期：凍結対策の保温ヒータにより効率低下確認 (システム最適化の改善余地あり) 効率(kWh/kg) 水電解システム効率(季節間実証)	NOx(g/Nm3) はいじん(ppm)x11%換算値 法規要件内で安定 いずれも測定・解析限界以下 NOxとばいじんの経年変化 切り替え機構 水素アフターバーナー炉 LPGアフターバーナー炉 バックアップ切り替え機構検証 量産工程作業内、1時間以内にLPGに切り替えを完了(前後行程、量産の影響なし)